

市民と議会

つな がる

多摩コミュニティ
パートナーズ

たま市議会だより
編集会議

「市民活動・交流センター」指定管理者の
多摩コミュニティパートナーズ
に聞きました



にぎわうキタカイcafé & bar

たま市議会だより編集会議(以下、編集会議)

この交流センターはどのような場所になるのでしょうか？特に力を入れようとしているポイントは？

山本センター長

たくさんの市民の皆様が「つながる」場となるような、地域の交流拠点にしていきたいと思います。

小さいお子さんからご高齢者、障がいをお持ちの方まで皆さんが気軽に参加できる生涯学習講座やイベント開催に力を入れていきたいと考えています。

また施設の備品や装飾は、できるだけ外部の業者を使わずスタッフみんなで作り上げました。

この部屋や、廊下の壁も私達でペンキを塗りました(笑)。

編集会議

この施設を利用する団体が利用しやすいような工夫をされていると聞きましたが。

山本センター長

この施設を利用される方はまず、団体登録をしていただきます。登録された団体は使用する部屋ごとに分科会に入ってください、分科会の中で利用者同士で話し合ってください、利用者の皆さんの意思を反映できるようにしました。

編集会議

分科会の設置にあたって何かご苦労はありましたか？

山本センター長

分科会ではそれぞれの主張がヒートアップしてしまうこともありました。

何度も協議を重ね、公平な立場で全体の意見を取りまとめ、利用者全員に納得していただくのに苦労しましたが、同時に少しずつ一体感が生まれることに嬉しくも思いました。

編集会議

施設の利用団体と周辺地域の住民との交流については何かお考えですか。

山本センター長

地域の皆様を対象にした教室の開催やサークル活動などを考えています。

また、毎年11月には「北貝取フェスタ」として利用団体の発表の場やフリーマーケットなど様々な企画を考えています。

旧北貝取小学校跡地に「未来へと 人も文化も つなげる場」を基本コンセプトとした「市民活動・交流センター」と「多摩ふるさと資料館」からなる複合施設がオープンしました。

たま市議会だより編集会議は、市民活動・交流センター長の山本綾子さんと上司の仲村知弥さんにお話を伺いました。



市民活動・交流センター内キタカイcafé & barで撮影
(左から4番目が仲村さん、6番目が山本センター長)

今回4月2日にオープニングイベントを行い、多くの皆さんが参加され、スポーツや工作の体験、太鼓や民族舞踊のパフォーマンス、ボランティアによるイベント参加などそれぞれの企画を楽しんでいただきました。

編集会議

最後に山本センター長はどんな方ですか？

仲村さん

山本センター長は、「まずはやってみる」をモットーに大変仕事熱心な人です。

ちょっとおっちょこちょいで、みんなから愛されるキャラクターです。

施設にお越しの際はお気軽に山本センター長にお声がけください！



4月2日に行われたオープニングイベントの写真
天気にも恵まれ、コロナ感染対策をしながら多くの親子連れがグルメや遊びを楽しんでいました。